

タイトル～<「CR 真北斗無双2 FB」の運用留意と、前作との比較検証>

■盆明けメインの「真北斗無双2」は、9月の最重要課題となる。

【課題】の観点は、いつも通りの、【遊技機～5つの貢献力】から始まります

その5つは、例のごとく…【集客貢献力】・【稼働貢献力】・【売上貢献力】・【粗利貢献力】・【資産貢献力】

基本的に、上記「5つの貢献力」は、『ホール営業&経営のためにある』貢献力であり、『新しい遊技機、見たい！打ちたい！と言う、お客様のため』…お披露目会でもあります。

無論、【真北斗無双2】の稼働次第では、「他機種への影響」や「近隣店舗への影響」も想定しておかねばなりません。基本的に『導入はマスト！』の機種として、運用を検証してみたいと思います

■リリース台数予定は「60,000台」予想。

今の時代で「1機種=5万台以上」のリリースは、『昨年の海物語ミドルだけか！？』と思っていたら、7月には【ウルトラセブン2】がありましたね。ちなみに「北斗シリーズ前機種」の【北斗の拳7百裂乱舞】は、2.5万台想定です。さて、【導入店舗の台数課題】としては、【CR 真北斗無双FWN(2016年春リリース)】のエリア設置状況において…

(1)『自店舗、及び近隣店舗含めたエリアに、どの程度の台数設置があるのか？』

(2)『エリア全体の稼働率はどんな状況なのか？』

…がキーワードになります。「全国の平均稼働データ」とかは、一旦参考程度に収めて頂いて、自店舗エリアの「台数」と「昼・夜の客数(=稼働率)」を調査して検証してみてください。

何はともあれ、『北斗シリーズの設置台数規模は、確実に膨れ上がる』のですから、それに准じて『自店舗の立ち位置を想像しながらの機械運用になる』のですから(大汗)

ちなみに「P-WORLD」の導入店舗数データ(8月20日現在)を見てみると…

【CR 北斗の拳6～天翔百列 FTB】(1/307.7)・(2015年9月リリース)…3,383店舗

【CR 真北斗無双FWN】(1/319.7)・(2016年3月リリース)…5,708店舗

【CR 真北斗無双EW】(1/219.9)・(2016年12月リリース)…4,600店舗

【CR 北斗の拳7～転生 FC】(1/319.7)・(2017年4月リリース)…8,052店舗

【CR 北斗の拳7～百裂乱舞 FUA】(1/319.7)・(2018年6月リリース)…5,148店舗

■スペックの再確認。

<機種タイプ>…「確変機仕様」。但し、「初回4R時(出玉550個あり)=潜伏確変付き」の仕様。

<特賞確率>…低確率=1/319.7・高確率=1/43.49(電サポ中のSA値=約12回と想定)

<確変突入・継続率>…突入率も、継続率も、「常に65.0%」

<潜伏確変詳細>…初回当りのみ(※初当りは、確変当りも通常当りも「全て4R=550個」となります)

【確変65%】電サポ内訳(30回=5%・50回=10%・70回=20%・次回迄=30%)

【通常35%】電サポ内訳(30回=14%・50回=14%・70回=7%)

<出玉性能>…特図①初回・4R=約550個

特図②電チュー・16R(65%)=約2,220個/通常2R(ショート開放)=約80個

■「スペック課題点」を検証し、その対応策を考える。

【スペック課題】として留意すべき点は、先ず【前作「CR真北斗無双 FWN」との相違点】になるでしょう。まだまだ現役バリバリの前作と、引き継がれた最新作とのスペックの違いは、『完全継承されていないから…』こそ、『面白いのか？つまらないのか？』が問われる事でしょう。以下、幾つかの＜スペック相違点＞としてピックアップしてみる。

- ・「初当りでの確変突入率」が変わった…(前)50%突入⇒(新)65%突入
- ・「連チャンシステム」と「継続率」が変わった…(前)ST機仕様(約80%継続)⇒(新)確変機仕様(65%継続)
- ・「確変後の出玉性能」が変わった…(前)16R=51%⇒(新)16R=65%

この3つのポイントは、【お客様が大当りした後のワクワク感(を想像する事)】に影響するでしょう。

よく、『80%連チャンから、65%連チャンになった事はマイナス要素だ』と言われるますが、それはそれで現実だと思います。しかし【16R出玉の継続率】だけをピックアップすると、「(前)16R=51%×80%=40.8%」⇒「(新)16R=65%×65%=42.3%」と、ほとんど変わっていない(若干増えている)事が分かる。

無論、『そもそも、平均連チャン回数が違う』ので、「比較が正しい答えを生み出すのか？」については判断出来ないが、その答えは前作における「途中の4R・8Rの特賞」をお客様がどう評価しているのか？に因る事となりますね。

そして最も気になる点が、【潜伏確変】になるでしょう。『この存在を、打ち手お客様側は、どう捉えるのか？』を考えたおかなければなりませんね(汗)。特に最近のパチンコ機では、「潜伏確変は無い」機種がリリースされていたし、前作【CR真北斗無双 FWN】も、潜伏確変は装備されていませんでした。

元々前作は「ST仕様」ですから、『次回大当りの保証は無い』仕様でした。今回はそれを『電サポ回数切りで対応した』とも言えます。無論それが、「潜伏確変を生じる」事にはなるのですが…(汗)

【初当り時】で考えるならば…前作は【50%突入⇒80%継続】でしたが、『新作は【65%突入⇒50%～100%の継続】&【それを突破したら65%確定の継続】と言うスペックに変更された』も言えます。

電サポ=70回転(初当り時=20%占有)での連チャン率が「80.4%」となる様に、前作の「常に80%継続で終了する」と言うスペックを、「50%～100%の範囲に広げた」とも受け取れなくもない。

対応する【ホール対策課題】としては、『お客様に、その変更点を、どう伝えるのか？』にかかっているでしょう。

最初の選択肢は…『①:比較として(ココではあえて【比較=進化】と言う)伝えるのか？』それとも『②:単独機種として伝えるのか？』になる。おそらくお客様は、『<第2章>って、何がどう変わったのか？』を知りたいだろうと思う。

では、「やっぱり伝えた方が良い」と思うのはちょっと早計な思考になる。それは、打ち手お客様にとって【比較=進化】が『つまらないモノ』として捉えられる可能性が、現状では「完全否定出来ないから」にある。

だって、ホールがちゃんと説明して『こうなりましたよ！』と言ったら、『やっぱりつまらん！』って言われちゃ身も蓋も無いですし…

ただ、少なくとも「数百万円の買い物をしたホールさん」は、その【違いを知り】、【良いところを探し】、【商品価値を高め】・【創り出し】、北斗パチンコファンの『お客様に、最高の商品提供をして頂きたい』と思います。

あと3年間、「CR真北斗無双2」が【ホールの5つの貢献】を達成出来ますように願う！…アッタタタタァ！！

<このコラムは、フリーコンテンツに該当しております。情報共有可としますが、転載・改ざん等はお控えください>
<また、文章・資料等の所有権は、「有限会社トータル・ノウ・コネクションズ」に帰属いたします>

※以下、【各種項目～運用の留意点】につきましては、<会員専用コラム>の内容に続きます。

TKC～【法人セミナー】のご案内

「TK高橋の千里眼セミナー」ですが、基本的に「単一法人様での勉強会」となります。

各法人様の意向を踏まえ、内容はカスタマイズさせていただきます。

※組合様等の場合、内容にて摺り合せが必要な場合がございますので、ご相談させていただきます。

<日 時>:ご依頼会社様の希望とのご相談の上、決定させていただきます

<場 所>:ご依頼会社様にて、手配をお願い致します。

※関西エリアにおいては「大阪元町・スリーストーン大阪営業所」開催は可能(概ね15名まで)

<時 間>:「1日＝4～5時間」が基本となります。(休憩含む拘束時間です)

<費 用>:基本価格～「1開催＝15万円」となります。(※只今、「TKC会員様＝10万円」となります)

<内 容>:ご依頼会社様とのご相談の上決定させていただきます。

※基本的に、「業界情報」・「パチンコ運用」・「店舗全体運営」の内容が中心となります。

※「業界動向セミナー」は、随時必要なタイミングにての開催を推奨いたします。

※「パチンコ運用セミナー」は、2回～3回(月1回)の連続開催を推奨いたします。

<その他>:交通費(長野県長野市から)・宿泊費は別途請求となりますのでご了承くださいませ。

～<セミナーのカスタマイズ>について～

⇒【勉強会開催において、多岐に渡るセミナー内容を同時開催したい場合】等。

弊社内容の他、「スロット運用」・「マーケティング情報」等々、内容のご希望がありましたらご相談下さい。

同日(または別日)、別コンテンツの専門的講師の推薦紹介させて頂き、同時(別日)開催となります。

(※この場合、別途講師費用と諸経費が加算されますので、ご了承くださいませ)

<お問い合わせ>

弊社代表「高橋正人」まで、ご連絡下さいませ。

【メールアドレス】:info@tkc-g.jp

【電話連絡】:(会社)026-256-9677 (携帯)090-3063-1757

有限会社 トータル・ノウ・コネクションズ

住所:長野県長野市南堀530-5

TEL:026-256-9677 FAX:026-256-9688

ホームページ <http://www.tkc-g.jp>

メールアドレス info@tkc-g.jp
